

EPS断熱材×木外装の 木造軸組「防火構造30分認定」を新たに取得

認定番号：PC030BE-3887(1)、(2)

多様な木外装のデザインに対応した、高断熱仕様の防火認定を取得

この度、発泡スチロール協会は、地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研）建築研究本部・北方建築総合研究所からの技術移転を受け、外装材に木板、付加断熱にEPS断熱材を用いた、建築基準法に定められた「防火構造」の国土交通省大臣認定を取得したことをお知らせします。

背景

- 政府は、CO2の吸収・土砂災害防止・林産物の供給など健全な森林育成のため、国産木材利用の振興を進めています。
- 木板の外装材を使用することにより国産材の需要促進につながり、多様な外壁デザインも可能となります。
- 木板の外装材（木外装）は防火規制により使用が制限されています。
- 木板を外装材に使用するためには、外壁として大臣認定の取得が必要です。
- 北方建築総合研究所（北総研）では、住宅の高断熱技術と防耐火性能に関する豊富な研究成果があります。

成果と期待される効果

- 北総研の研究成果「北総研防火木外壁（PS仕様）の開発」を受け、外装材に木板、付加断熱にEPS断熱材を用いた充填断熱材併用の「防火構造30分認定」を取得しました。
- 魅力ある木外装デザインが可能となります。
- 建築物への木材の利用を促進し、森林資源の循環および地域産業の振興に貢献できます。

認定概要

- EPS付加断熱【外張り充填併用断熱】（防火構造30分）
- EPS（ビーズ法ポリスチレンフォーム）：密度 25～36kg/m³

認定番号	外装材	付加断熱材	構造用面材	構造	充填断熱材	内装仕様
PC030BE-3887(1)	木板（横張り、縦張り）	EPS （厚さ20～100mm）	あり	軸組	・グラスウール（厚さ100mm以上） ・ロックウール（厚さ100mm以上） ・吹込み用ロックウール（厚さ100mm以上）	せっこうボード 12.5mm以上
PC030BE-3887(2)	木板（横張り、縦張り） 【下張材あり】					

防火性能試験状況



防火試験前（木外装：加熱面）



防火試験後（木外装：加熱面）
30分の防火試験後も柱が
しっかり残っています。

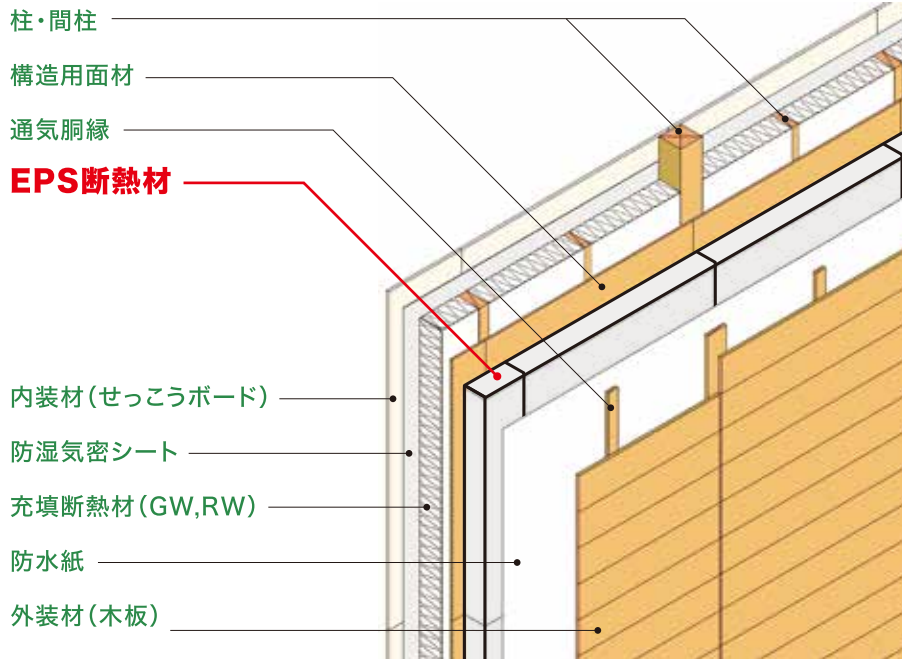


防火試験前
（せっこうボード：加熱裏面）



防火試験後
（せっこうボード：加熱裏面）
外観異常なし

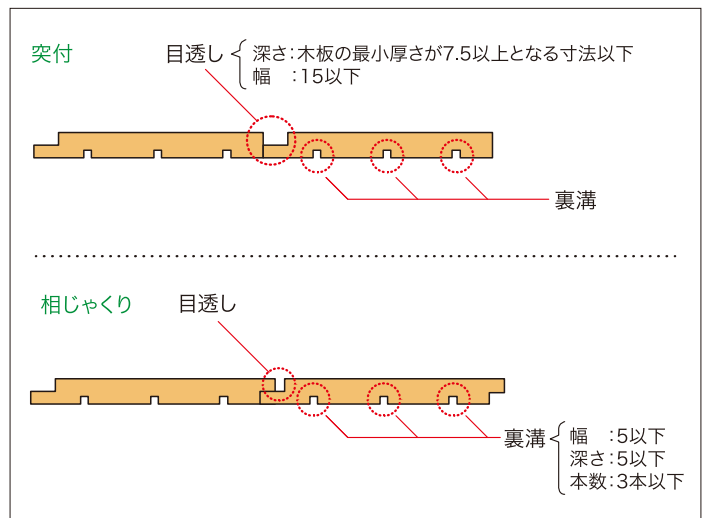
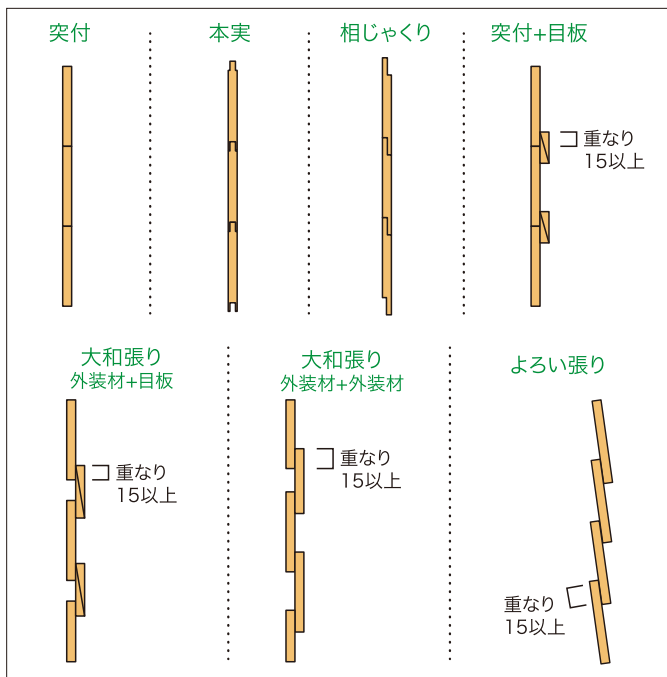
外壁構成図



外装材(木板)

- 厚さ: 15~30mm
- 働き幅: 100~240mm
- 目地形状

- 張り方: 縦張り又は横張り
- 表面塗材: ウレタン系その他
- 目透しおよび裏溝



■お願い: 本認定のご使用にあたっては、必ず防火認定書をご確認の上、使用する構成材料・納まり施工方法等が合致するよう、お願いいたします。

■EPS取扱先

■本件に関するお問い合わせ

JEPSA

発泡スチロール協会(JEPSA)

EPS建材推進部

TEL:03-3861-9046

https://www.jepsa.jp/jepsa_eps/index.html

